

しんぶん つむぐ

2026.1.12 第102号

# 『訪ぐ』

発行 教育相談室「あした塾」 発行責任者 滝井元之  
連絡先 927-0014 石川県鳳珠郡穴水町梶原の197  
■ 0768-56-1152 (自宅 ■ 0768-56-1151)



新しい年にけりました。復旧・復興は道半ばです。

町は仮設住宅入居者の意向を確かめながら仮設入居1年の延長を求めています。このことに対して、復興公営住宅の建設も進められておりました。これがまだ時間



が必要です。今年が先の見える、希望が持てる年になるように頑張りましょう。町には被災者・市民に寄り添った強力な施策を進めていきたいと思います。



1月1日 中居澤のボランティア  
第4回仮設(陸上競技場)の風景

次号 103号は2月1日付で発行する予定です。

## 能登半島地震・奥能登震災

### 追悼式

1月1日、輪島市立追悼式が行われました。そこで、その会場で、お花を手渡す者全員が手渡されました。奥様は新婦さんといた。



献花をする出席者の皆さん(70人程度)

## 災害公営住宅建設予定(2025年) 1月23日

用地名	戸数	所在地	入居開始予定
上野田地区	50	上野	2026年10月
白山第1	20	白山	現在の特住者
白山第2	23	"	2027年3月下旬
白山第3	26	"	2027年3月下旬
稻荷田地区	30	稻荷町	2027年秋
駅前地区	未定	未定	未定
住吉地区	5(?)	出雲駅周辺	2027年3月頃
諸橋地区	5(?)	未定	未定
甲田地区	8	甲公民館近く	2027年下半年
高崎地区	5(?)	未定	未定
下郷川第2	6	下郷川	現在の特住者
仮設商店第2マレジエ: 商工会跡地へ建設 商工会、興能信用金庫、竹原、江原屋岱入居予定			

“来年は今年も復興が叶う、相談の情報が求め難くお尋ねください。(複題欄用)

# 故郷は無くなってしまった 岩車 龍燈の石



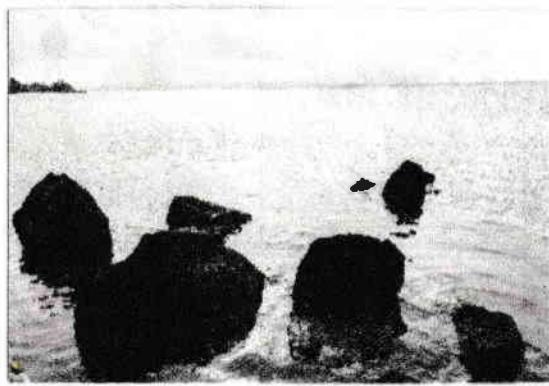
ばゆる瀬戸あり。この『神の栗山』から大きな火の玉が現れ、海上を突き進む。『龍燈』の名のとおり（火が一度消えると火）、しばらくして、『最勝の森』、『南北寺神社』へと進んで再び、沖合はゆく様な流れなのです。この岩車の龍燈』は旧暦の大晦日の亥の刻（いのこ）（夜10時）に来きて現れたりと云う。村人は『龍燈』が現れる時間に通じてのそばに座り、無言で手を挙げてと言ひいわれます。新田さんはその場所も教えてくれました。



（案内してくれる新田さん）

この記事は新田さんのお説と田本角佐夫さん編著の「あわせ百物語」をもとにさせていただきました。  
(情報をお寄せください。)

△水町岩車の集落の海の近く住吉神社がありす。この神社は別名龍燈の宮（りゅうとうのみや）と呼ばれていて昔からの不思議な言い伝えが残っています。岩車在住で地図のあと仮設住宅では活動していた新田真寿美さん（91）は、この言い伝えが嘘ひしないと氣にかけ、いくつもの場所を案内しながら、ていねいに説いてくれました。「昔、住吉神社があるところを『最勝の森』（さいせつのもり）と呼び、海上を突き進む、『龍燈』（のりばらのいそ）と『龍燈の石』と呼ばれる石がありました。先、岩車の南面、約6kmの沖合には『神の栗』（かみのくり）山と呼ばれていて、そこから『龍燈』が現れ、海上を突き進む。『龍燈』の名のとおり（火が一度消えると火）、しばらくして、『最勝の森』、『南北寺神社』へと進んで再び、沖合はゆく様な流れなのです。この岩車の龍燈』は旧暦の大晦日の亥の刻（いのこ）（夜10時）に来きて現れたりと云う。村人は『龍燈』が現れる時間に通じてのそばに座り、無言で手を挙げてと言ひいわれます。新田さんはその場所も教えてくれました。



（『龍燈の石』と叟山ある岩場です。）

現在は石を見たといふ人もいなくなり、この伝承を後世に残すと昭和58年（1983年）に『龍燈の宮』という又牌を住吉神社境内に建てました。

## 阪神・淡路大震災31年XEROX集会

この1月17日（土）午後、神戸市長田区文化センターで「災害被災者のくらし再建・人間復興」と題して、元宮城学院女子大学教授の浅野豊美校さんのお見説講演などのXEROX集会が行われました。同時に、阪神淡路大震災30年のエサ川の慰靈式が行われました。元は1つのエサ川にすぎません。悲惨な時間を通過して今日、それが教訓は繋いでいかなければいけない…。

△水町長選挙及び小泉一郎議長の立候補による議員補欠選挙が1月20日告示を行います。

△水町長選挙及び小泉一郎議長の立候補による議員補欠選挙が1月20日告示を行います。